

子どもの未来を守るため

支える社会



県政運営の基本指針「新・宮城の未来ビジョン」に基づき、各分野で魅力的な活動を展開する県内の企業や団体などを紹介するコーナーです。今回のテーマは「子ども・子育て」。県内で子育て支援を行う株式会社キューテストの代表を務める中原絵梨香さんにお話を伺いました。



親に家事や育児の負担が偏りやすく、子育てに対する孤独感や負担感が大きくなってしまいう要因にもなっています。そのため、2時間のサポートで数品の料理を作り置きすると、利用者にとっても喜ばれるそうです。さらに、単なる育児や家事代行にとどまらず、産後うつやリスクが高い時期に、母親の心身の不調に寄り添い、きめ細やかなケアを提供しています。同社の保育理念である「子どもの親友・ママの心友・家族の信友」を徹底し、温かな伴走者として、家族全体をサポートしています。

誰もが輝ける人材育成と柔軟な働き方

中原さんは、スタッフが自信を持ってサービスを提供できるように、独自の教育プログラムを構築してきました。これまでは保育経験者を中心に採用していましたが、今後は資格の有無を問わず子育て経験者など多様な人材を受け入れ、より幅広いニーズに添えていく予定です。また、「時間で縛らない」働き方を推進し、子育てや介護などライフステージの変化にも柔軟に対応できる職場環境を整えています。

先進技術を活用した安心の仕組み

さらに同社では、ベビシッターの日報をAIが解析し、産後うつやリスクを早期に察知する取り組みも進めています。産後特有の育児ストレスや疲労が見られる時期だからこそ、早期のケアと周囲の支えが重要です。AIの分析を生かし、利用者が抱えるさまざまな不安や悩みをいち早く共有することで、スタッフ間の連携を強化し、親が孤立しない環境づくりを目指しています。

社会全体で支える子育て

誰もが子育てしやすい社会の実現を目指す中原さん。「良質で必要なサービスを、誰もが当たり前利用できる環境を整えるには、行政や企業との連携が欠かせません。社会全体で子育てを支え、安心して子どもを生育てられる環境をつくりたい」と熱く語ります。理想とするのは、全ての家庭が子育てを楽しめる社会。「子どもたちが伸び伸び成長できるように、親にもゆとりのある暮らしを届けたい」という思いが、その笑顔の奥にあふれています。

仲良く楽しく支援しています！



株式会社キューテストの皆さん。経験豊富な保育士や子育て経験者が、育児と家事を丁寧かつ誠実にサポートします。乳幼児期は人生の土台となる大切な時期。その成長と家族全体を支えることで、子どもの健やかな未来を育みます。明るく元気な中原さんを中心に、チームの仲の良さが伝わります。

起業の原点

「自分の経験を生かして」

7歳の時に産後うつが原因で母親を亡くした中原さんは、その経験から「産後うつを防ぎ、家族以外にも頼れる社会をつくりたい」という思いを抱くようになり、自身が妊娠・出産を経験する中で、産前産後の女性が感じる孤独や負担の大きさを痛感し、同じ悩みを抱える方々の力になりたいと考えたそうです。そして、宮城を子育てしやすい環境にしたいという強い思いから、株式会社キューテストを設立し、ベビシッター・家事代行サービス「Family Sitter 仙台」を立ち上げました。公立保育所では早くも生後2カ月からの受け入れが一般的です。

家族を支える温かい手

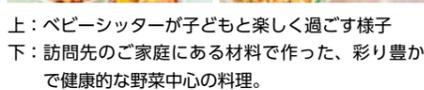
「Family Sitter 仙台」は、赤ちゃんの保育や沐浴、上の子どものお世話に加え、料理や洗濯、掃除などの日常的な家事もまとめて行うことを特徴としています。核家族や親族が遠方にいるご家庭にとって、第三者に家事や育児を任せることで大きな安心につながります。赤ちゃんを育てるご家庭では、1時間の間にも細切れなお世話が必要となり、家事を十分にこなせないことがほとんどです。また、男性が育児休暇を取得しやすい環境が整っていない職場も多く、母



株式会社キューテスト代表取締役中原絵梨香さん。秋田県鹿角市出身。東北学院大学進学を機に仙台に移住。大学卒業後は、東京・丸森町などに住みながら観光や地域おこしの仕事に従事。26歳で第1子の長女を出産。現在は仙台で起業家として活躍中。



上：ベビシッターが子どもと楽しく過ごす様子
下：訪問先のご家庭にある材料で作った、彩り豊かで健康的な野菜中心の料理。



Family Sitter 仙台



「Family Sitter」は株式会社キューテストの登録商標です。

ホームページ / Instagram

